

新しい社会

「今を問い、未来をともに拓く力」を育む



「主体的・対話的で深い学び」を通して、「持続可能な社会をつくる力」を育む

特色 1

知識・概念や 技能の定着

- 中学校社会科で習得すべき知識や概念を過不足なく盛りこみました。知識を定着するうえでの必須の事項や、生徒がつまづきやすい事項については、巻末の「用語解説」で簡潔な補足説明を加えることで、確実に定着できます。
- 学習に必要な様々な資料を収集し、読み取り、まとめる際の手法を豊富に分かりやすく紹介し、社会科の学習に必要な多種多様な技能を習得できます。

特色 2

思考力・判断力・表現力の 涵養

- 本文の記述を補完する写真・グラフ・地図などの資料を豊富かつ効果的に配置し、資料を読み取る視点を適切に示唆することで、読み取りや解釈を通して、思考力や判断力を身に付けられるように配慮しました。
- 単元全体を貫く「問い」である「探究課題」を中心に単元を構造化しました。探究課題を立てる導入の活動や、課題を追究する見開きごとの短時間の活動、探究課題を解決するまとめの活動といった豊富な活動を通じた課題解決的な学習を展開することで、思考・判断した内容を、適切に表現する力が身に付きます。
- 社会的な「見方・考え方」について丁寧に説明することで確実に捉えさせ、捉えた見方・考え方を働かせる場面を豊富に設けることで、思考・判断を深められます。

特色 3

課題を解決し、 未来を拓く力の育成

- 国連が採択した持続可能な開発目標(SDGs)や、領土をめぐる問題など、我が国や国際社会が抱える現代的な諸課題を取り上げ、背景や経過、現状に目を向け、解決のためにできることを考えることを通じて、社会に参画する力を育てます。
- 対話的な学習の場を豊富に取り入れ、より良い社会の在り方について考察・構想することで、身に付けた知識・概念や技能、思考力・判断力・表現力を活用して、他者と協働しながらより良い社会を築く意識と態度が養えます。

特色 4

カリキュラム・マネジメント の支援

- 各単元の学習の最初に、小学校社会科での学習事項や小学校の教科書に掲載された用語や資料を位置付け、振り返りの活動を設けることで、小・中の学習を系統的に接続できます。
- 持続可能な社会の実現のために解決すべき、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」に関わる課題や事象を、3分野それぞれの視点から考察する教材やコラムを掲載し、3分野を関連させた「社会科」としての学習が展開できます。
- 社会科以外の他教科と関連した学習内容にはマークを付し、他教科の教科書紙面も参照できるようにすることで、カリキュラム・マネジメントを効果的にサポートし、社会的事象や現代的な諸課題を、より深く、多面的・多角的に理解できます。
- 地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野の学習内容においても、教科用図書「地図」との連携を図ることで、学習内容の空間的理解を促し、理解をより深められます。

特色 5

特別支援教育への配慮

- 特別支援教育の観点から、学習上必須ではない情報(凹凸のあるデザインやキャラクターなど)をなくして学習内容に集中しやすくすることで、全ての生徒が学びやすくなっています。
- カラーユニバーサルデザインの観点から、教科書紙面を全面的に検証し、色覚特性がある生徒にとって見やすい色を使用したり、色以外の情報で区別がつきやすくすることで、全ての生徒が読み取りやすくなっています。

新しい社会地理

観点	観点の内容	特色
① 内容の程度・分量	①全体の分量は、地理的分野の年間標準時数に対応できるように配慮されているか。また、各単元の配当時数は適切か。	●本文は見開き2ページ1単位時間を原則としています。目次・さくいん、巻末資料などを除いた総ページ数は276ページで、標準授業時数115時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。 ●授業時数は、第1編に13時間(第1章に7時間、第2章に6時間)、第2編に39時間(第1章に10時間、第2章に29時間)、第3編に57時間(第1章に6時間、第2章に11時間、第3章に35時間、第4章に5時間)を配当しており、適切な配当といえます。
	②内容の程度、範囲、および文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	●内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、文章も敬体(ですます体)を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。 ●ふりがなは、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、固有な名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また、本文だけでなく、資料ごとに付すことで、ほかの箇所での読み方を確認する必要がないようにしました。
② 教育基本法・学習指導要領・今日的な課題への対応	①基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に習得できるように配慮されているか。	●見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を費す問いである『学習課題』→丁寧で分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック＆トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 ●地理学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を充実させ、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。 →p.15, 17, 23, 34, 51, 61, 144~145, 154など ●学習指導要領に示された「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から技能を活用するコーナーを設け、資料を活用する力を高められるようにしました。 →p.14, 17, 28, 38, 62, 164など ●本文等の抽象的な用語は、巻末の「用語解説」で解説し、基礎・基本を確実に理解できるようにしました。→p.288~291
	②「地理的な見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育み、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように配慮されているか。	●各単元の導入部で、その単元で活用する「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるようにしました。→p.7, 15, 20, 35, 41, 55, 61, 157, 163など ●各見開きには、短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。 ●第2編第2章・第3編第3章の諸地域学習では、世界の各州・日本の各地方の学習の終結部に、「ウェブ」[ツール]「ミニ図式」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。→p.72, 86, 98, 112, 124, 136, 139, 194, 206, 218, 230, 242, 254, 266 ●小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。→p.13, 21, 24, 28, 43, 174
	③我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え、国土、歴史に対する理解と愛情を深めるように配慮されているか。	●我が国の歴史の中で形作られてきた人々の暮らしや、伝統産業、伝統文化、郷土料理、民話、歴史的町並みなどを取り上げ、我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を深め、伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるようにしました。→p.215~216, 220, 227, 229, 248~251など ●掲載している文化財のうち、重要文化財に指定されているものや世界遺産にはマーク(国)を付し、文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を深められるようにしました。→p.227国など
	④我が国の領域を正しく理解できるように配慮されているか。	●我が国がかかえる領土をめぐる問題の現状やその地理的背景について本文やコラムで扱い、我が国の領域について正しく理解し、解決に向けての意識が高められるようにしました。→p.24~27
	⑤公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うように配慮されているか。	●第3編第3章「日本の諸地域」では、各地方の学習の終わりに、それまで学習してきた内容と身近な地域で見られる事象とを関連付けて考える活動を設けることで、身近な地域の特色や課題に対する関心を高められるようにしました。→p.194, 206, 218, 230など ●第3編第4章「地域の在り方」では、地理学習のまとめとして、それまで学習してきたことを振り返りながら、「身近な地域をより良くするためにはどうしたらよいか」という視点から、地域の課題や変容に注目したり、地域の将来像を提案したりする活動を充実させることで、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようにしました。→p.270~281
	⑥持続可能な開発目標(SDGs)といった、持続可能な社会の実現に向けた、現代的な諸課題に十分に対応しているか。	●教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。→巻頭3~p.1 ●世界の諸地域の学習の導入や、「地域の在り方」の学習で「持続可能な開発目標(SDGs)」を取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。→p.55, 270 ●(環境・エネルギー)環境破壊の事例や地球環境問題、様々な発電方法の特徴や課題を取り上げる多様な教材を掲載し、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。→p.80~81, 114~121, 134, 170~171, 180~181, 208, 232 ●(人権・平和)イスラム教と人々の暮らしや、アイヌ民族の文化の歴史的背景などを取り上げ、人権や国際平和についての意識が高められるようにしました。→p.70, 244, 268など ●(伝統・文化)世界各地で営まれる宗教と関わり深い生活などを取り上げたり、宗教分布図を読み取らせたりすることで、宗教についての理解を深められるようにしました。→p.50~51, 59, 77など ●(防災・安全)東日本大震災をはじめとする様々な自然災害の地理的要因や、復旧・復興、防災・減災に向けた取り組みを取り上げ、防災・安全への主体的な意識や態度を養えるようにしました。→p.164~167, 189, 215, 253など ●(情報・技術)アフリカをはじめ、地球規模で整備が進んでいる交通・通信網などについて取り上げ、情報や技術に関する課題と展望について、考察が深まるようにしました。→p.96, 196など ●(少子高齢化)急激に進む日本の少子高齢化の現状や、町おこし・村おこしの例を取り上げることで、課題に向き合う意識や態度を養えるようにしました。→p.168~169, 204~205, 216~217
	⑦小学校の学習との系統的な接続を図るように配慮されているか。	●各章の扉裏には、小学校で学習した写真や用語を掲載してマーク(国)等で示し、小学校の学習を振り返る場面を設け、小学校での4年間の社会科学学習に、中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学学習」を系統的に展開できるようにしました。→p.6, 33, 54, 140, 156, 183
⑧カリキュラム・マネジメントの観点から、他分野・他教科の学習内容と関連させた学習ができるように配慮されているか。	●「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」に関する特設ページ(「もっと地理」)を3分野共通で掲載することで、3分野を関連させた学習を展開できるようにしました。→p.96, 166~167, 180~181, 244, 268など ●他分野と共通で掲載している資料や特設ページには、「分野関連マーク」を付すことで、並行して学習する歴史的分野や第3学年で学習する公民的分野を意識した多面的・多角的な学習を展開できるようにしました。→p.51国, 77国, 168国, 201国, 270国など ●他教科と関連があるページには「他教科関連マーク」を付し、二次元コードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、学習を多面的に深められるようにしました。→p.23, 35, 76, 150, 162など	
③ 構成・配列	①教材の配列は、学習しやすいように配慮されているか。	●「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくしました。 →(第3編2章の例)導入部:p.156~157→展開部:p.158~177→終結部:p.178~179 ●基礎的・基本的な地理的技能の確実な習得を図る「スキル・アップ」は、生徒の発達段階をふまえて系統的に配置し、技能を段階的に高められるようにしました。→p.13, 15, 16, 17, 18, 23, 30, 34, 37, 51, 61, 63, 65, 105など
	②導入やまとめ、問題提起に必要な教材、学習の整理のための配慮などは、十分になされているか。	●①単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入(の活動)」→②1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→③「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしました。また、「探究課題」をスムーズに解決するための問いである「探究のステップ」も設けています。→(2編1章の例)①導入の活動:p.33~35→②問いの追究:p.36~51→③まとめの活動:p.52~53 ●調査単元以外では、学習の最後に「基礎・基本のまとめ」を設け、地図などを使って学習内容を整理することで、基礎・基本の定着を図れるようにしました。→p.32, 53, 138, 182, 269など ●各見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、「読み取る」コーナーや「考える」コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるようにしました。
	③写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果を高めるように配慮されているか。	●世界の各州の導入部分にイラストを使用した地図や自然や生活に関する写真を掲載し、日本の各地方の導入部分には各地方の「探究課題」に関連した写真を掲載することで、生徒が学習する地域のイメージを持てるようにしました。→p.56~57, 100~101, 245, 257など ●本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしました。 ●本文の理解を深める「地理にアクセス」や、地域で生活する人の様子を取り上げる「インタビューコラム」を随所に掲載し、生徒が興味・関心を高められるようにしました。→p.9, 21, 25, 37, 39, 41, 81, 107, 189, 193, 217, 238など ●ICT機器を活用して利用できる「Dマークコンテンツ」を用意し、該当箇所には「Dマーク」を付すことで、学習効果が高まるようにしています。→p.9, 16, 24, 37, 55, 144など
④ 印刷・造本	①造本面で、生徒が使いやすい工夫がなされているか。	●視覚的効果が高い幅広の判型(AB判)を用い、資料を豊富に大きく掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成にしました。また、使用している文字の大きさや書体は適切で、読みやすいものになっています。 ●針金とじを用いて製本するなど、造本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えうるものになっています。 ●本文用紙は、塗料を工夫することなどで、不透明度を保ったまま紙をさらに薄くすることにより、約3.1%軽量化しました。
	②特別支援教育に関わる適切な配慮がなされているか。	●不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を採用し、本文ページからはキャラクターをなくすことで、学習内容に集中できるようにしました。 ●紙面全体で、色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインを採用しました。 ●教科書で使用しているすべての文字に、ユニバーサルデザインフォントを使用しました。 ●本文のふりがなや参照ページは、可読性を確保したうえで文字濃度を抑え、本文をより読み取りやすくしました。 ●資料の掲載部分の背景に色を付けて、本文部分と資料部分との区別を明確にすることで、読み取りやすさを向上させました。 ●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用しました。
	③用紙等、環境への配慮がなされているか。	●用紙には、強度と発色性とをかね備えた質の高い再生紙を使用し、環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読み取りやすく、色映えするように工夫しています。 ●印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。

新しい社会歴史

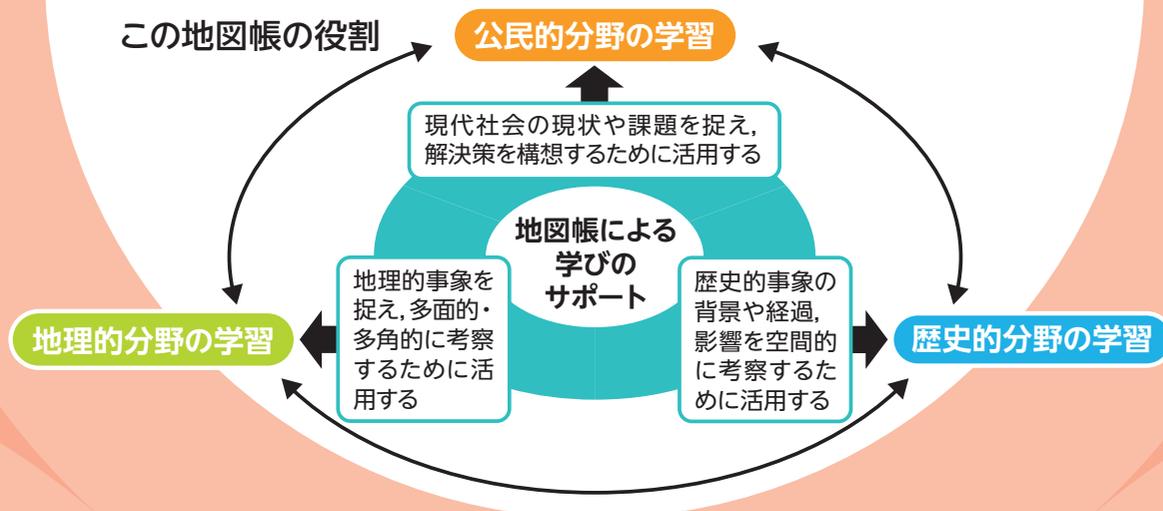
観点	観点の内容	特色
① 内容の程度・分量	①全体の分量は、歴史的分野の年間標準時数に対応できるように配慮されているか。また、各単元の配当時数は適切か。	●本文は見開き2ページ1単位時間を原則としています。目次・さくいん、巻末資料などを除いた総ページ数は278ページで、標準授業時数135時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。 ●授業時数は、第1章に6時間、第2章に19時間、第3章に15時間、第4章に23時間、第5章に27時間、第6章に19時間、第7章に14時間を配当しており、適切な配当といえます。
	②内容の程度、範囲、および文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	●内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、文章も敬体(ですます体)を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。 ●ふりがなは、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また、本文だけでなく、資料ごとに付すことで、ほかの箇所でも読み方を確認する必要がないようにしました。
② 教育基本法・学習指導要領・今日的な課題への対応	①基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に習得できるように配慮されているか。	●見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す[導入資料]→1時間を貫く問いである[学習課題]→丁寧に分かりやすい[本文]→1時間の学習課題を解決する[チェック＆トライ]」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 ●歴史学習の基礎的な知識・技能を習得させる[スキル・アップ]を充実させ、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。→p.9, 11, 15, 25, 33, 37, 53, 89, 189, 245, 277など ●学習指導要領に示された[集める][読み取る][まとめる]の側面から技能を活用するコーナーを設け、資料を活用する力を高められるようにしました。→p.26, 41, 49, 64, 109, 117, 152など ●本文等の抽象的な用語は、巻末の[用語解説]で解説し、基礎・基本を確実に理解できるようにしました。→p.284~289
	②「歴史的な見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育み、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように配慮されているか。	●第1章では、学習指導要領に示された「歴史的な見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるようにしました。→p.9~13, 26, 32, 42, 46, 70, 165, 177など ●各見開きには、短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。 ●第2~7章の最後には「くらげチャート」「ピラミッドストラクチャ」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、歴史学習の最後には、持続可能な社会について自分の考えをまとめる「歴史のまとめ」を設けることで、思考を整理し、学びを深められるようにしました。→p.60~61, 96~97, 146~147, 204~205, 248~249, 280~281, 282~283 ●身近な地域の歴史を調べる「地域の歴史を調べよう」では「テーマの設定」「調査」「考察」「まとめ」の流れを明示することで調査の流れをおさえ、それぞれの段階のポイントを示すことで、言語活動を効果的に行えるようにしました。→p.14~17, 56~57, 92~93, 142~143, 200~201, 244~245, 276~277 ●小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。→p.10, 22, 67, 111, 156, 215, 270など ●絵巻物などの実物の資料を見開きで掲載した「資料から発見!」では、対話的な活動を通して、歴史への関心高めながら思考力・判断力・表現力を育めるようにしました。→p.52~53, 88~89, 138~139, 174~175
	③我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え、国土、歴史に対する理解と愛情を深めるように配慮されているか。	●政治史や経済史に偏重することなく、文化史にも十分な紙面を割くとともに、「もっと歴史」では、神話やアイヌ文化など、現代に受け継がれている文化を扱うことで、我が国の伝統や文化に対する理解を深め、伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるようにしました。→p.50~51, 54~55, 72~73, 90~91, 112~113, 140~141など ●見返しには、我が国が世界に誇れる国宝や重要文化財などを取り上げ、通史学習でも該当の文化財や世界遺産、世界の記憶、無形文化遺産にマーク(㊦㊧㊨㊩㊪)を付すことで、文化財を通して、我が国の歴史に対する理解と愛情を育てられるようにしました。→巻頭1~巻頭2, 巻末2~巻末3など ●時代や出来事のポイントとなった人物を紹介した「人物コラム」を随所に設け、人物に目を向けた歴史学習を行えるようにしました。特に、近代以降の人物には出身県を示すことで、郷土にゆかりのある人物を意識できるようにしました。→p.47, 103, 164, 172, 212, 265など
	④我が国の領域を正しく理解できるように配慮されているか。	●我が国がかかえる領土をめぐる問題について、領有の歴史的な経緯を取り上げることで、領土をめぐる問題の背景を正しく理解し、解決に向けての意識が高められるようにしました。→p.178~179, 180~181
	⑤公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うように配慮されているか。	●「地域の歴史を調べよう」では、時代や地域が異なる6事例を紹介し、「身近な地域の歴史」を学ぶことを通して、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようにしました。→p.56~57, 92~93, 142~143, 200~201, 244~245, 276~277
	⑥持続可能な開発目標(SDGs)といった、持続可能な社会の実現に向けた、現代的な諸課題に十分に対応しているか。	●教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。→巻頭3~p.1 ●第7章「現代の日本と私たち」では、「持続可能な開発目標(SDGs)」を取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。→p.271 ●(環境・エネルギー)現代の環境問題や、歴史上の環境保全、エネルギーの利用の変遷に関するトピックを、通史部分だけでなく「もっと歴史」でも取り上げ、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。→p.195, 263, 272~273 ●(人権・平和)歴史上の為政者だけでなく、様々な人々の動きを重視するとともに、現代の人権問題につながる歴史(差別されてきた人々の歴史)の記述を充実させ、歴史的背景を捉えやすくしました。→p.87, 116~117, 137, 187, 240~241など ●(伝統・文化)アイヌ民族や琉球王国の歴史を、通史部分だけでなく「もっと歴史」でも取り上げ、多文化共生の視点を持たせられるようにしました。また、三大宗教を中心に、宗教のおこりや広がりを通史部分で取り上げ、宗教に対する理解が深まるようにしました。→p.28~29, 51, 73, 81, 90~91, 100, 122~123, 140~141など ●(防災・安全)歴史上で様々な教訓や変革をもたらした災害について学び、先人たちが乗り越えてきた経験を基に、復旧・復興や、防災・減災について主体的に考える態度を養えるようにしました。→p.130, 221, 270~271, 274~275 ●(情報・技術)マスメディアやインターネットの発達の過程を取り上げることで、情報化社会の歴史的な背景を捉えられるようにしました。→p.198~199, 264~265
⑦小学校の学習との系統的な接続を図るように配慮されているか。	●第1章「歴史へのとびら」には、小学校の学習指導要領に示されている人物や、小学校で学習した文化財・出来事を振り返る活動を設け、中学校での歴史学習にスムーズに導入できるようにしました。→p.6~7, 10~11 ●第2~7章の導入の活動には、小学校で学習した人物や文化財の資料、用語を掲載してマーク(㊦)等で示し、小学校の学習内容を中心に構成した年表も配置することで、小学校での4年間の社会科学習に中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学習」を系統的に展開できるようにしました。→p.18~19, 62~63, 98~99, 148~149, 206~207, 250~251	
⑧カリキュラム・マネジメントの観点から、他分野・他教科の学習内容と関連させた学習ができるように配慮されているか。	●「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」に関する特設ページ(「もっと歴史」)を3分野共通で掲載することで、3分野を関連させた学習を展開できるようにしました。→p.140~141, 198~199, 242~243, 272~273, 274~275など ●他分野と共通で掲載している資料や特設ページには、「分野関連マーク」を付すことで、並行して学習する地理的分野や第3学年で学習する公民的分野を意識した多面的・多角的な学習が展開できるようにしました。→p.36㊦, 85㊧, 125㊨, 157㊩, 238㊪, 270㊫など ●他教科と関連があるページには「他教科関連マーク」を付し、二次元コードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、学習を多面的に深められるようにしました。→p.15, 25, 57, 195, 274など	
③ 構成・配列	①教材の配列は、学習しやすいように配慮されているか。	●各時代の学習を、「学習に興味・関心を持たせる[導入部]→学習を進める[展開部]→学習をまとめる[終結部]」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくしました。→(古代の例)導入部:p.18~19→展開部:p.20~57→終結部:p.58~61
	②導入やまとめ、問題提起に必要な教材、学習の整理のための配慮などは、十分になされているか。	●第2~7章の学習は、①単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」→②1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→③「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしました。また、節ごとに設けた「探究のステップ」に取り組むことで、「探究課題」をスムーズに解決できるようにしました。→(中世の例)①導入の活動:p.62~63→②問いの追究:p.64~87→③まとめの活動:p.94~97 ●第2~7章の最後には「基礎・基本のまとめ」を設け、年表や模式図などを使って学習内容を整理することで、基礎・基本の定着を図れるようにしました。→p.58, 94, 144, 202, 246, 278 ●各見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、「読み取る」コーナーや「考える」コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるようにしました。
	③写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果を高めるように配慮されているか。	●本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしました。 ●歴史研究の成果をふまえて、復元写真や想像図など、歴史が実感できる資料を豊富に掲載しました。→p.20, 31, 34など ●小さな資料は実物大で掲載し、大きな資料にはサイズを付すことで、生徒が具体的なイメージを持って学習できるようにしました。→実物大資料:p.30, 33, 39, 41, 82, 125, 165, 171 ●ICT機器を活用して利用できる「Dマークコンテンツ」を用意し、該当箇所には「Dマーク」を付すことで、学習効果が高まるようにしています。→p.8, 18, 62, 120, 165, 238など
④ 印刷・造本	①造本面で、生徒が使いやすい工夫がなされているか。	●視覚的効果が高い幅広の判型(AB判)を用い、資料を豊富に大きく掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成にしました。また、使用している文字の大きさや書体は適切で、読みやすいものになっています。 ●針金とじを用いて製本するなど、造本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えうるものになっています。 ●本文用紙は、塗料を工夫することなど、不透明度を保ったまま紙をさらに薄くすることにより、約3.1%軽量化しました。
	②特別支援教育に関わる適切な配慮がなされているか。	●不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を採用し、本文ページからはキャラクターをなくすことで、学習内容に集中できるようにしました。 ●紙面全体で、色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインを採用しました。 ●教科書で使用しているすべての文字に、ユニバーサルデザインフォントを使用しました。 ●本文のふりがなや参照ページは、可読性を確保したうえで文字濃度を抑え、本文をより読み取りやすくしました。 ●資料の掲載部分の背景に色を付けて、本文部分と資料部分との区別を明確にすることで、読み取りやすさを向上させました。 ●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用しました。
	③用紙等、環境への配慮がなされているか。	●用紙には、強度と発色性とをかね備えた質の高い再生紙を使用し、環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読み取りやすく、色映えするように工夫しています。 ●印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。

新しい社会公民

観点	観点の内容	特色
① 内容の程度・分量	①全体の分量は、公的・私的の年間標準時数に対応できるように配慮されているか。また、各単元の配当時数は適切か。	●本文は見開き2ページ1単位時間を原則としています。目次・さくいん、巻末資料などを除いた総ページ数は213ページで、標準授業時数100時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。 ●授業時数は、第1章に13時間、第2章に16時間、第3章に23時間、第4章に24時間、第5章に14時間、終章に4時間を配当しており、適切な配当といえます。
	②内容の程度、範囲、および文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	●内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、文章も敬体(ですます体)を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。 ●ふりがなは、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また、本文だけでなく、資料ごとに付すことで、ほかの箇所でも読み方を確認する必要がないようにしました。
② 教育基本法・学習指導要領・今日的な課題への対応	①基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に習得できるように配慮されているか。	●見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧で分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック＆トライ』」の流れで構成し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 ●公民学習の基礎的知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を新設し、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。→p.45, 81, 85, 101, 145, 151, 161など ●学習指導要領に示された「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から技能を活用するコーナーを設け、資料を活用する力を高められるようにしました。→p.18, 23, 40, 82, 94, 117, 189など ●本文等の抽象的な用語を解説する巻末の「用語解説」を拡充し、基礎・基本を確実に理解できるようにしました。→p.248~253
	②「現代社会の見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育み、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように配慮されているか。	●第1章や各単元の学習の冒頭で「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるようにしました。→p.24~31, 41, 54, 73, 90, 122, 141など ●各見開きには、短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。 ●各章の終結部には「座標軸」「ステップチャート」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。→p.34~35, 70~71, 122~123, 176~177, 210~211 ●小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。→p.9, 53, 79, 103, 131, 169, 207など
	③我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え、国土、歴史に対する理解と愛情を深めるように配慮されているか。	●我が国の特色ある伝統や文化に関する教材や、伝統や文化の継承や保存に取り組む中学生の姿を豊富に取り上げ、わが国の伝統や文化に対する理解と愛情を深め、伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるようにしました。→p.18~23, 巻末1 ●掲載している文化財のうち、国宝・重要文化財や、世界遺産、世界の記憶、無形文化遺産に登録されているものにはマーク(国・世・記・無)を付し、文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を深められるようにしました。→p.18 ㉠㉡㉢, 46㉣など
	④我が国の領域を正しく理解できるように配慮されているか。	●地理や歴史での学習内容をふまえて、わが国の領域について「主権」や「外交」の視点から正しく理解し、我が国がかかえる領土をめぐる問題の現状を捉え、解決に向けての意識が高められるようにしました。→p.182~185
	⑤国旗や国歌を尊重する態度を育てるように配慮されているか。	●第5章1節の「国際社会における国家」で「国旗と国歌」について記述し、国旗・国家を尊重することの重要性が理解できるようにしました。→p.183
	⑥公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うように配慮されているか。	●第1章1節に「持続可能な社会に向けて」を設けたり、中学生が社会参画している事例を取り上げたりすることで、持続可能な社会の形成に必要な一人一人の社会参画について、具体的な事例を通して理解できるようにしました。→p.8~9, 116, 118~119, 173など ●「インタビューコラム」を随所に設け、実際に社会に参画している人々の姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようにしました。→p.50, 67, 74, 104, 143, 146, 167, 203, 218 ●公民学習の最後には、持続可能な社会について構想し、自分にできることをアクションプランにまとめるページを設けました。→p.213~218
③ 構成・配列	⑦持続可能な開発目標(SDGs)といった、持続可能な社会の実現に向けた、現代的な諸課題に十分に対応しているか。	●教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。→巻頭1~巻頭2 ●持続可能な社会の形成について、第1章1節と終章で取り上げ、第5章や巻末法令集で「持続可能な開発目標(SDGs)」を取り上げることで、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。→巻頭1~巻頭2, p.8~9, 180, 187, 199, 204, 213~218, 247, 巻末2~巻末3など ●(環境・エネルギー)公害問題や地球環境問題、日本のエネルギー政策などについて多様な教材を掲載し、話し合いなどの活動を通して、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。→巻頭1, p.8, 62, 135㉡, 170~171, 178, 192~197, 巻末2など ●(人権・平和)第2章の導入「ちがいのちがいで身近な事例から人権について考えさせるとともに、インクルージョンについて考える活動を新設したり、「もっと公民」で共生社会を目指す具体的な事例を掲載したりすることで、人権意識を高められるようにしました。→p.37~74など ●(伝統・文化)第1章で文化について扱うとともに、オリンピックやパラリンピック、日本の無形文化遺産などについて取り上げることで、伝統・文化への理解を促せるようにしました。→p.18~23, 36, 巻末1など ●(防災・安全)東日本大震災からの復興や防災対策、防犯などの課題について、具体的な事例を通して、社会参画や地方自治、自助・共助・公助、減災、人権などの多様な観点から考えられるようにしました。→巻頭2, p.8~9, 65㉢, 124~125, 196, 巻末3など ●(情報・技術)新聞記事を豊富に掲載し、新聞を使った活動を取り上げるなど、情報モラルやメディアリテラシーについて、具体的な活動を通して養えるようにしました。→p.15, 65, 84~85, 96㉣, 108㉤など ●(主権者)選挙権・国民投票権の満18歳以上への引き下げに対応して、実際の選挙の流れを概観するページを新設し、また、憲法改正や選挙に関する記述を拡充することで、選挙制度や選挙の意義について具体的に理解できるようにしました。→p.44~45, 58, 76~77, 80~83, 86~89, 95アクセス, 122~123など ●(消費者)成人年齢の満18歳以上への引き下げを見すえ、身近な場面設定を用いて契約の注意点を学習できるページを新設し、広告の読み取りや悪質商法への対処などの具体的な活動や事例を通じて、「自立した消費者」として必要な資質や能力を身に付けられるようにしました。→p.130~137 ●(家族)現代日本の家族の特色と意義について第1章で取り上げ、家族の重要性を理解できるようにしました。→p.12~13, 24~25
	⑧小学校の学習との系統的な接続を図るように配慮されているか。	●各章の扉には、小学校で学習した写真や用語を掲載してマーク(㉦)等で示し、小学校の学習を振り返る場面を設け、小学校での4年間の社会科学習に中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学習」を系統的に展開できるようにしました。→p.37, 75, 127, 179
	⑨カリキュラム・マネジメントの観点から、他分野・他教科の学習内容と関連させた学習ができるように配慮されているか。	●「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」に関する特設ページ(「もっと公民」)を3分野共通で掲載することで、3分野を関連させた学習を展開できるようにしました。→p.16~17, 36, 72~73, 124~125, 196~197など ●他分野と共通で掲載している資料や特設ページには、「分野関連マーク」を付すことで、地理・歴史の学習の成果を生かした公民学習が展開できるようにしました。→p.8㉥, 21㉦, 168㉧, 206㉨など ●他教科と関連があるページには「他教科関連マーク」を付し、二次元コードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、学習を多面的に深められるようにしました。→p.14, 20, 125, 136, 194など
	①教材の配列は、学習しやすいように配慮されているか。	●各章の学習を、「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構成し、学習の流れを捉えやすくしました。→(経済単元の例)導入部：p.127~129→展開部：p.130~173→終結部：p.174~177 ●第2~4章は「人権・憲法→政治→経済」の流れにすることで、公民学習の基盤である「人権・憲法」を先に学習し、「経済」については政治や政策との関連から学習を深められるようにしました。また、第3章は「国の政治→地方自治」の流れにし、「国の政治」を通じた民主政治の基礎についての学習を基に、地方自治の学習を展開することで、地方自治の意義を理解しやすくしました。
	②導入やまとめ、問題提起に必要な教材、学習の整理のための配慮などは、十分になされているか。	●各章の学習は、①単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」→②1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→③「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構成し、課題解決的な学習を進めやすくしました。また、節ごとに設けた「探究のステップ」に取り組むことで、「探究課題」をスムーズに解決できるようにしました。→(政治単元の例)①導入の活動：p.75~77→②問いの追究：p.78~119→③まとめの活動：p.120~123 ●各章の「導入の活動」と「まとめの活動」には共通の題材を使うことで学習の流れを促しています。また、各単元の最後には「基礎・基本のまとめ」を設け、模式図などを使って学習内容を整理することで、基礎・基本の定着を図れるようにしました。→p.33, 69, 121, 175, 209 ●各見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、「読み取る」コーナーや「考える」コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるようにしました。
③写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果を高めるように配慮されているか。	●本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしました。 ●漫画やイラストなどを豊富に掲載し、生徒が興味・関心を持って学習を進められるようにしました。→p.6~7, 12㉩, 25~31, 128~129など ●ICT機器を活用して利用できる「Dマークコンテンツ」を用意し、該当箇所には「Dマーク」を付すことで、学習効果が高まるようにしています。→p.46, 81, 109, 151, 161など	
④ 印刷・造本	①造本面で、生徒が使いやすい工夫がなされているか。	●視覚的効果が高い幅広の判型(AB判)を用い、資料を豊富に大きく掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成にしました。また、使用している文字の大きさや書体は適切で、読みやすいものになっています。 ●針金とじを用いて製本するなど、長期間の使用にも十分耐えうるものになっています。 ●本文用紙は、塗料を工夫することなどで、不透明度を保ったまま紙をさらに薄くすることにより、約3.1%軽量化しました。
	②特別支援教育に関わる適切な配慮がなされているか。	●不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を採用し、本文ページからはキャラクターをなくすことで、学習内容に集中できるようにしました。 ●紙面全体で、色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインを採用しました。 ●教科書で使用しているすべての文字に、ユニバーサルデザインフォントを使用しました。 ●本文のふりがなや参照ページは、可読性を確保したうえで文字濃度を抑え、本文をより読み取りやすくしました。 ●資料の掲載部分の背景に色を付けて、本文部分と資料部分との区別を明確にすることで、読み取りやすさを向上させました。 ●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用しました。
	③用紙等、環境への配慮がなされているか。	●用紙には、強度と発色性とをかね備えた質の高い再生紙を使用し、環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読み取りやすく、色映えするように工夫しています。 ●印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。

「今を問い、未来をともに拓く力」を育む

教科書と一体化した
「資料集」として使える
地図帳



特色 1

SDGsなどの、現代社会の諸課題の
理解を深められる地図帳

国連のSDGsに代表される、環境・資源・エネルギー問題、人口・貧困問題、紛争・難民問題や、日本の領土をめぐる問題など、現代社会の諸課題の理解を深められます。

特色 2

地理・歴史・公民の学習を
サポートする地図帳

地理的分野はもちろんのこと、歴史的分野や公民的分野の学習内容も補完したり、深めたりする資料を取り上げて、資料に「歴史・公民マーク」を付すことで、活用場面を明確化し、「教科書準拠資料集」としての活用度を高めました。

特色 3

見やすく読み取りやすい地図帳

明るい色づかいを採用して文字の可読性を高めるとともに、色覚特性がある生徒にも区別しやすい配色にしたり、ユニバーサルデザインフォントを採用して文字の視認性を向上させたりすることで、読み取りやすくしました。

特色 4

見たい資料が探しやすい地図帳

地理的分野の諸地域学習の概観の学習を補完する「基本資料」を共通で掲載したり、テーマごとに資料を参照できる「資料さくいん」を設けたりして、見たい資料を簡単に探せます。

新しい社会地図

検討の観点から見た内容の特色

観点	観点の内容	特色	
① 分量 内容の程度	①全体の分量は、社会科の学習に活用できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●社会科の学習内容に沿った資料を選定し、教科書と併せて活用することで学習効果が高まるように配慮しました。 ●社会科の学習を深められるように、地図をはじめ、グラフ・写真などの資料をバランス良く掲載しています。特に、世界のアジア、ヨーロッパ、北アメリカなど、授業でよく取り上げられる地域や、日本の三大都市圏については、多くの資料を取り上げています。 	
	②内容の程度、範囲は、生徒の発達段階から見て適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ●内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、社会科の授業で扱いやすいように、学習内容に応じて地図やグラフなど、適切な資料を取り上げました。 ●日本の一般図の地名などには原則として全てゴシック体のふりがなを付し、読み取りやすくしています。 	
② 教育基本法・学習指導要領・今日的な課題への対応	①基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に習得できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の各州・日本の各地方には、地域の概観に役立つ、自然・産業・人口などの主題図を「基本資料」の形で設け、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようにしました。→p.31~32, 55, 63, 71, 77, 83, 93, 103, 109, 118, 127, 133, 145 ●世界の一般図では、国名や主要な都市名、自然地名などの基本的な情報を取り上げ、地域の特徴的な事象を「注目したい記号」の形で示すことで、地域の特色を捉えやすくしました。→p.29~30, 33~35, 41~42, 45~46, 51~54など ●日本の一般図では、全ての市町村名や主要な自然地名を掲載し、巻末のさくいんでも全市町村名を網羅することで、全国の市町村の位置をもれなく探せるようにしました。→p.88~92, 97~102, 105~108, 180~185など 	
	②「見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育むように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の各州・日本の各地方の「テーマ資料」では、地理的分野の諸地域学習の探究課題に沿って学習する際に活用できる資料を取り上げ、探究課題の考察を通して理解を深め、学習効果が高まるようにしました。→p.36~38, 64~65, 94, 104など ●資料のポイントや見方・考え方を示したキャラクターのふき出しを設けることで、資料を読み取る力を高め、学びを深められるようにしました。→p.8, 12, 43, 78, 94, 147など 	
	③我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え、国土や歴史に対する理解と愛情を深めるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●郷土料理の写真や、世界遺産を取り上げた地図など、我が国や郷土の伝統や文化、世界に誇れる文化財の資料を随所に掲載し、我が国や郷土で育まれてきた豊かな伝統・文化を理解し、尊重する資質や能力を養えるようにしました。→p.19~22, 95~96, 111~112, 134, 146, 165 	
	④我が国の領域を正しく理解できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●巻末の「日本の周辺」の地図で、我が国の東西南北端や排他的経済水域を示し、近隣諸国との間で領土をめぐる問題を抱えている地域を写真も交えて説明することで、我が国の領域についての理解を深められるようにしました。→p.190~191 	
	⑤公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●世界における日本の国際協力や平和への取り組みを紹介した資料を取り上げることで、我が国が国際社会において果たしている役割を理解し、社会への関わり方について意識を高められるようにしました。→p.10, 12, 14, 65 	
	⑥持続可能な開発目標(SDGs)といった、持続可能な社会の実現に向けた、現代社会の諸課題に十分に対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールの一覧を掲載し、現代的な諸課題を捉え、解決に向けた態度を養えるようにしました。→p.7~8 ●(環境・エネルギー)天然資源の偏在やエネルギー生産など、世界や日本の資源・エネルギーの現状が分かる資料を掲載することで、資源・エネルギーに関わる課題への理解を深められるようにしました。→p.25~26, 155~156など ●(防災・安全)東日本大震災などの自然災害の被害の様子を示した資料やハザードマップなど、防災・安全に関する資料を豊富に掲載し、主体的な防災・安全への意識や態度を養えるようにしました。→p.134, 151~152など ●(人権・平和)世界の紛争や難民問題についての資料や、沖縄戦や原子爆弾の投下に関する資料を掲載することで、現代社会的な視点と歴史的な視点から平和学習を展開できるようにしました。→p.13~14, 94, 96, 104 ●(伝統・文化)世界の文化や宗教に関する資料や、日本の食文化などを取り上げることで、世界の様々な文化や宗教を尊重し、郷土の文化を大切にすることを養えるようにしました。→p.19~22, 47, 134, 165など ●(情報・技術)世界のインターネット利用の様子を示す資料や、航空機や鉄道の発達を示す資料を掲載し、工業技術や情報網、交通網の発達が現在の私たちの生活を支えていることを理解できるようにしました。→p.161~162など 	
	⑦小学校との系統的な接続をうながすように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭に世界の国や首都を示した世界全図、巻末に日本の都道府県と県庁所在地を示した日本全図を掲載し、小学校での学習を振り返りながら、中学校での社会科学習を進められるようにしました。→p.1~3, 192 	
	⑧地理的分野・歴史的分野・公民的分野の学習内容との関連に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●社会科教科書との連携をいっそう図り、教科書の本文や資料を補完したり、より深めたりする資料を豊富に取り上げました。 ●地理的分野の世界や日本の諸地域学習に活用できるように、世界と日本の各州・地方の資料を、「一般図→地域の概観に役立つ『基本資料』→追究学習に役立つ『テーマ資料』」の流れで構造化しました。また、教科書の本文や掲載資料との連携を図り、併せて読み取ることで学習効果が高まる資料を掲載し、課題解決的な学習で活用できるようにしました。→p.76~78, 97~104など ●歴史的分野や公民的分野での活用を想定した特設ページを設け、歴史や公民との連携を強めました。また、古代文明やイスラム世界の学習で活用できる「西アジア・環地中海」の一般図や、江戸時代の大坂の地図を掲載したり、環境問題や人口問題、紛争などの現代的な諸課題に関する特設ページを設けたりすることで、歴史や公民の授業での活用度を高めました。→p.7~14, 39~40, 45~46, 95~96, 110~112, 131~132など 	
	③ 構成・配列	①教材の配列は、学習しやすいように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●地理的分野の教科書の構成に沿った配列で、大きく「世界」と「日本」とに分け、「世界全体の資料→世界の一般図・資料→日本の一般図・資料→日本全体の資料→世界と日本の統計資料」の順に配置し、授業での活用度を高めました。
		②一般図の構成や掲載範囲は、学習効果を高めるように工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の一般図は、ユーラシア大陸を初めに位置付け、東から西にヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカ、オセアニアの順に並べ、随所に大きく大陸や海洋をおさえる縦の地図を掲載することで、地球の姿を捉えやすくしました。→p.29~30, 61~62, 67~68など ●歴史的な結びつきが強いヨーロッパとアフリカを同じ一般図に掲載するなど、地域的なつながりを重視した様々な範囲の一般図を掲載し、地理だけでなく、歴史や公民の学習にも活用できるようにしました。p.45~46, 61~62など ●日本の一般図は、標高と地形区分によって色分けした100万分の1地勢図を、中国・四国地方を分けた8地方区分で掲載して地形の特色を捉えやすくしたり、全ての政令指定都市を網羅した50万分の1拡大図に土地利用を示したりすることで、日本全体の姿を捉えやすくしました。p.88~92, 97~102, 105~108, 113~117, 121~124, 135~142
③地図の活用をうながす工夫がなされているか。		<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭に「この地図の地図記号・活用方法」を設け、地図帳の構成要素を解説し、具体的な活用例を示すことで、授業での地図帳の活用方法を理解しやすくしました。→p.4~6 ●巻末の「資料さくいん」では、地形や気候などの分類ごとに資料の種類やページを掲載し、資料の検索性を高めました。→p.186 	
④写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果を高めるように配慮されているか。		<ul style="list-style-type: none"> ●写真や地図、グラフなどの資料を約70点増やし、生徒が具体的なイメージを持って学習を深められるようにしました。 ●日本との結びつきが特に強いアジア、ヨーロッパ、北アメリカの各州には鳥瞰図を見開きで掲載し、生徒が地形のイメージを捉えやすくしました。→p.31~32, 49~50, 73~74 ●ご当地キャラクターや、オリンピック、サッカーワールドカップの開催国など、生徒の興味・関心を高める資料を取り上げ、学習に取り組む意欲や態度が高まるようにしました。→p.22, 165 ●ICT機器を活用して利用できる「Dマークコンテンツ」を用意し、該当箇所には「Dマーク」を付すことで、学習効果が高まるようにしています。→p.7, 34, 90など 	
④ 印刷・造本	①造本面で、生徒が使いやすい工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●視覚的効果が高い幅広の判型(AB判)を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成にしました。また、使用している文字の大きさや書体は適切で、読みやすいものになっています。 ●糸かがりと同じで製本するなど、造本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えるものになっています。 	
	②特別支援教育に関わる適切な配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●不要な凸凹や飾りをなくした「フラットデザイン」を採用することで、学習内容に集中できるようにしました。 ●紙面全体で、色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインを採用しました。 ●使用しているほとんどの文字にユニバーサルデザインフォントを採用しました。 ●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用しました。 	
	③用紙等、環境への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●用紙には、強度と発色性とをかね備えた質の高い再生紙を使用し、環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読み取りやすく、色映えるように工夫しています。 ●印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 	